

《研究報告》

子どもの心を育てるには

—— 世代間交流を通して ——

入山辺保育園 腰 原 敬 子

1. はじめに

入山辺保育園では、現在0.1歳児2名、2歳児2名、3歳児15名、4歳児21名、5歳児19名、計59名の子ども達が職員8名と生活を共にしている。

子ども達の家庭のほとんどは三世帯同居で数少ない子どもに対して大人の手が十分に入り大事に育てられている。祖父母の影響か優しい気持ちをもちあわせている子どもも多いが、反面大事にされすぎて過保護な面もみられる。

本園では後述するように、長年にわたり世代間交流事業に取り組んできているが、各家庭では子どもが祖父母にどう接しているのか、各家庭がお年寄りに対してどのような願いを持っているのか等、家庭の実態を把握してこの事業の推進にも役立てたいとの考えから、「家庭の様子について」のアンケートを実施した。

多くの家庭では、「家族だけでなくどこのお年寄りに対しても優しく接してほしい。」とか「人に感謝の気持ちを忘れず、祖父母を大切にしてほしい。」「今までの時代を生きて苦勞し、現在の自分達の生活を築いてくれた人であることをよく知って敬う気持ちをもってほしい。」など、お年寄りを大切に思う気持ちを強く育てていきたい、と願っていることがわかる。このようなお年寄りに対しての家庭の願いを理解し、本年度もさらにこの事業を継続していくことにした。

2. 「世代間交流」実践の経過

(1) 国の施策と松本市の状況

国では昭和62年に次の施策をうちだした。

保育所地域活動事業実施要綱

①趣 旨

保育所は多様化する保育需要に、より積極的に対応するとともに、地域に開かれた社会資源として保育所の有する専門的機能を地域住民のために活用することが要請されていることに鑑み、保育所において乳児保育、延長保育等を推進するとともに、地域の需要に応じた幅広い活動を推進することによって児童の福祉向上を図ることを目的とするものであること。

②実施主体

事業の実施主体は市町村とすること。

③事業の内容

別紙のとおり。

④実施方法

- ・市長村長（指定都市の市長を除く。）は保育所における事業の内容、所要額等について、都道府県知事に協議し承認を得ること。

また、指定都市の市長が実施する場合には、事業の内容、所要額等について適切な場合に実施すること。

- ・都道府県及び指定都市は実施施策の事業の種類毎の内容等について、この実施要綱に適合する旨の必要な書類を整備しておくこと。

⑤国の助成

国は、市町村が行う本事業に対して都道府県が補助する事業（指定都市にあっては本事業を実施する場合）について、別に定めるところにより補助する。

特別保育科目設定実施事業の内容について

次のような特別の保育科目を設定して保育を行う施設について、特別に必要な経費につき助成を行い入所児童の処遇の充実を図るとともに、保育所の地域における福祉活動の推進を図る。

①老人福祉施設訪問等世代間交流事業

老人福祉施設等への訪問、あるいはこれら施設や地域のお年寄りを招待し、劇、季節的行事、手作り玩具製作等を通じて世代間のふれあい活動を行う。

②地域における異年齢児交流事業

保育所入所児童と地域の児童とが地域的行事、ハイキング等の共同生活を通じて異年齢児との交流を行う。

③保護者等への育児講座

保育所入所児童の保護者及び地域の乳幼児をもつ保護者等に対して、保育所を拠点として育児講座を開催する。

④郷土文化伝承活動

郷土の踊り、音楽、手作り玩具、焼き物、伝承遊び等について専門講師から指導を受ける。

⑤保育所退所児童との交流

保育所を退所した児童を保育所に招き、社会性を養う観点から交流事業を行う。

⑥地域の特性に応じた保育需要への対応

地域の保育需要に対応するため、地域の実情に応じた活動をしている保育所について市町村が特に必要と認めたもの。

松本市は平成元年度より特別保育科目設定実施事業に取り組み、毎年世代間の交流、家庭育児の機能向上を図り、地域に開かれた保育園としての機能を果たすべく継続実施している。

平成7年度は世代間交流26園、育児講座6園、郷土文化伝承事業に3園が取り組んでいる。

(2)入山辺保育園での世代間交流事業への取り組み

本園では上記のような国や市の方針を受けて、平成元年度より園の近くの老人ホーム「松風園」と交流を開始した。

松風園は65歳以上の老人で、身体上、精神上、環境上、経済上の理由により居宅において養護を受けることが困難な人を養護することを目的として運営されている養護

老人ホームである。

平成元年度から平成6年度までの取り組みは第1表のとおりである

(3)平成7年度の実践について

本年度は今までの世代間交流事業を見直し「保育園全体でこの事業に寄せる願いをしっかりと」と話し合い、願いと日々の保育の配慮事項をまとめて実践に入った。

①世代間交流事業に寄せる保育者の願い

社会の急速な変化に伴って物質的には豊かになったものの、物の見方、考え方、価値観などが多様化し様々な問題が生じてきている。また、核家族化、少子化、留守家庭の増加などにより、躰や道徳性の面にもしわよせがみられ、その影響を最も強く受けているのが子ども達ではないか、という思いを強くしている。

そこで人間尊重の基本的立場をふまえ、思いやりや助けあいの気持ちを持ち、「ともに生きる」喜びを味わえる子どもを育成したい、という願いをもった。そのために、子ども達に日々の生活の中で、低年令のうちから「他者を大切にしていこう心」を育てたいと考え、下記の8つの具体的な願いを大事にしながら保育を進めていくことを確認しあった。

- 1) 自分より幼い子に対して親切にする。
- 2) 誰とでも仲良くし、皆で助け合う。
- 3) 友達の喜びを自分のものとして一緒に喜び合う。
- 4) 家庭・保育園・近隣の人たちが自分たちのためにいろいろ尽くしてくれていることを知り、感謝の気持ちを持つ。
- 5) お年寄りの人たちの様子やお年寄りが今まで働いてきてくれたことを知り、感謝の気持ちを持つ。
- 6) 世の中の人たちはみんな助け合って仕事をしたり楽しんだりしていることに気づく。
- 7) 小動物をかわいがったり草花の親しんだりする。
- 8) 物を大切にする。

②配慮事項として

- 日々の生活の中で弱い者、小さい者へのかかわりを大切にさせることを通して、思いやりや協調の精神を積み重ねていくことを大切にしていく。
- 幼児にとって思いやりの心を学ぶ生きた教材となるのは祖父母に対する両親の姿勢、街で見かける老人や障害者に示す親の態度、園の中での弱い友だちやハンディのある友だちに対する母親や保育者の言動そのものではないかと、という思いから家庭との連携も大事に考えていく。
- 松風園と懇談の機会をもち、お互いが共通認識を持って進めていく。

③平成7年度世代間交流実施計画（表2）

④これまでの保育から

★石けん作り

給食の廃油を利用して松本消費者の会の方の指導を受けて保護者と松風園のお年寄りが石けん作りをした。子ども達も実際に作る場面やできあがった石けんを見せてもらい興味をもてた。

★コンサート

松風園のお年寄りを招いてピアノとバイオリンによるコンサートを開いた。素晴らしい音色に耳を澄ませたり、時には一緒に体を動かして楽しみ、会食では子ども達とお年寄りとのなごやかな会話がはずんだ。

★陶芸教室

年長児が松風園へ出かけ陶芸家の木村岳史さんの指導を受けて土鈴の作り方を教わったり、自分の好きな形の置物や器を作った。

★祖父母参観

園児の祖父母を対象に祖父母参観を行い、給食の様子を見てもらった。祖父母には小さい頃に遊んだあやとり、お手玉、まりつき、めんこなど実際にやってもらった。祖父母も昔を思い出して積極的に取り組んで下さり、子ども達からも共感の歓声が上がった。

★運動会

今まで年長児が中心になり交流していた運動会を今年は全クラスの子も達がかかわろう、ということで進めた。実施記録は第3表のようである。

★松風園運動会

一生懸命取り組むお年寄りの姿を目のあたりにし、子ども達は「おじいちゃん頑張れ、おばあちゃん頑張れ」と大きな声援を送った。お年寄りも子ども達に「頑張るんだよ。」と声をかけて頭をなでてくださった。

保育者も積極的にお年寄りに声をかけていくことで笑顔を見せてくれるお年寄りもいた。さまざまな場面を重ねて交流していくことで心を開いてくれる、といことを強く感じた。

3. 実践を通しての反省

ひとつひとつの交流の中味について、子どもにとってどうか、松風園のお年寄りにとってどうか、細かい部分まで職員間で話し合い、共通認識を持って進めてきたことで、今年度取り組んできた実践が職員一人ひとりのものになっている。また、昨年度まで年長児中心に交流を進めていたのが、今年度は全員でかかわるようにしてきたことで、子ども達のお年寄りに対する気持ちも高まっている。

事例① あたたかみのある子ども達の会話

子ども達の話の中に「きのう、おじいちゃんと畑でイモ掘ったよ。」「おばあちゃんの肩たたいてあげたらね、いい気持ちって言ってた。」など、今まで以上にお年寄りとのかかわりの話が出てきており、いっそうあたたか味が感じられるこの頃である。

保育者がお年寄りとの交流に意識を向けているためかもしれないが、家庭だけでなく園としても集団で松風園との交流、祖父母との交流を続けていることから、子ども達の会話の中にお年寄りとのかかわりが多くなったことはありがたいことである。

事例② 年中児とY子の「お年寄りの死についての思い」を伝えてきた母

『祖祖母の葬儀などで三日もお休みをいただきありがとうございました。寝こんでから二十日足らず帰らぬ人となりあっけない思いにかられています。Y子も園からもどりひいばあちゃんが天国へ旅立った話を聞きながら涙しました。死を敏感に感じとったのだと思います。』

「ばあちゃんをどうするの？」と聞かれ、葬儀のことを言うと、必死で「ひいばあちゃんを燃やさないでよ。どうして燃やしちゃうの」と泣かれて私もせつなさが増しました。焼き場へ行き骨を拾いました。不思議そうにしていたが、葬儀場のお寺へ入ったとたんに体をふるわせて泣き出しました。私もずっと抱きしめていてやりたかったのですが、忙しく周囲の者もあわただしくしており、一人で泣いていました。少し落ち着いてから、いとこたちと遊びだしほっとしました。葬儀中は半ベソをかく程度でしたが、今朝絵を描きだし。「うちは7人家族だもん。ひいばあちゃんもいるもん。」と言いながら泣き出し家族全員の絵を描いていました。

初めて身近な者の死に、この子なりに耐えているのではないかと思います。気持ちの強い子で心配はしておりませんが、どうかよろしくお願い致します。』

子どもの美しい姿を伝えてくれる母親の存在も嬉しいし、教えられることが多い。

事例③ 年少児K男の祖父の話から

K男の祖父はある会合の席で、「孫は男なので小さいうちから土の大切さを知らせていきたいし、土とかかわっていく中で物を作ることの大変さや尊さなどを教えたいので、しょっちゅう畑へ連れ出すのです。」と語っていた。そのK男の畑での体験は園でも時々話題となり子どもの中に広がっていく。

世の中には若い人、お年寄りなど価値観の違う人が一緒に生活をしていくことの難しさを聞くことがあるが、お年寄りとの生活で教えられることはたくさんある、という気持ちが大事ではないだろうか。私たち保育者も子ども達に対する祖父母の接し方から教えられることがたくさんある。常に謙虚な気持ちで松風園のお年寄りや子ども達のおじいちゃん、おばあちゃんと接していきたいと思う。

4. 今後の課題

- ①それぞれの行事の内容の見直しをしていく。
- ②年度の始めと終わりには松風園との話し合いをもっていきたい。そして、それぞれの交流のねらいをはっきり伝え理解してもらうようにしていきたい。
- ③松風園・保育園双方が無理のないように交流を進めていきたい。

④散歩やマラソンなどの時にかかわらず挨拶、畑作りを園芸クラブに入っているお年寄りに教えていただく、など日頃の自然なかかわりを大切にしていきたい。

第1表 世代間交流の経過（平成元年度から平成6年度まで）

松本市立入山辺保育園

平成元年度	平成2年度	平成3年度
6/10 観劇 ・ホーホーズ 「こんこんきつねの すむところ」 保護者・松風園と ・会食 9/28 お楽しみ会 ・子ども達の発表 ・ゲーム 9/29 松風園運動会 ・遊戯 10/5 運動会 ・パンくい競争 10/15 地区運動会 ・遊戯 11/28 観劇 ・パネルシアター 「あれは何物だ」 「おもちゃの チャチャチャ」 ・カレーライス ・人形劇 「三枚のおふだ」 「おちょん雀」 ・会食 2/21 松風園訪問	6/27 観劇 ・鈴木まことショー ミニミニコンサート ・けん玉ショー ・人形劇 「ブッターマン」 「なかよし」 ・会食 9/8 祖父母参観 園児と祖父母と ・歌 ・子どもの発表 ・祖父母の発表 9/26 お楽しみ会 ・歌 ・手あそび ・体操 ・フォークダンス ・「炭坑節」 ・会食 10/3 運動会 「りんご狩り」 10/19 松風園運動会 ・遊戯 10/21 地区運動会 ・遊戯 親子リズム	5/30 観劇 ・むすび座 「ボロンボロン」 「星になったカップ」 ・茶話会 9/14 祖父母参観 園児の祖父母と ・子どもの発表 ・祖父母の発表 9/19 お楽しみ会 ・子どもの発表 ・松風園の劇 ・会食 10/1 運動会 ・年長児と遊戯 10/8 松風園運動会 ・遊戯 10/20 地区運動会 ・遊戯 親子リズム 11/21 お楽しみ会 ・歌 ・ゲーム （ボール運び） ・会食

<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の発表 <p>3/16 お別れ会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・踊り 	<p>11/28 鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画鑑賞 「木を植えた男」 ・エプロンシアター 「ジャックと豆の木」 ・素話 ・会食 <p>2/13 松風園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発表 歌、手あそび、劇 ・会食 <p>3/15 お別れ会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・保母の劇 「わらしべ長者」 ・会食 	<p>2/18 松風園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇 ・歌 ・合奏 <p>3/3 お別れ会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・松風園の出し物 ・保母の劇 「赤ずきん」 ・松風園から励ましの言葉 ・会食
平成4年度	平成5年度	平成6年度
<p>7/3 観劇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がらくた座 ・会食 <p>9/17 祖父母参観 園児の祖父母・地区の老人クラブと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の遊び、手品 ・大正琴演奏 ・祖父母との交流 <p>10/6 運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松風園、地区の老人招待 <p>10/8 松風園運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯 <p>10/17 地区運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯 	<p>7/6 陶芸教室に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児のみ <p>7/22 三重奏コンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松風園招待 ・会食 <p>9/30 運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松風園、祖父母 ・風船割り ・カード合わせ 年長児と <p>10/15 松風園運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯 ピーターパン体操 <p>10/17 地区運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯 親子リズム 	<p>7/19 陶芸教室に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松風園へ 年長児のみ <p>7/21 三重奏コンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松風園招待 ・会食 <p>9/8 祖父母参観 園児の祖父母と</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・保育者の出し物 ・祖父母の発表 ・茶話会 <p>10/1 運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松風園 「いっしょに合わせて」 ・祖父母 競技 <p>10/7 松風園運動会</p>

<p>10／19 陶芸教室に参加 ・年長児のみ松風園へ</p> <p>2／6 松風園訪問 ・子供たちの発表、歌、劇、手あそび</p> <p>3／9 お別れ会 ・歌 ・松風園からの出し物 ・保母の劇 「三匹の子ぶた」</p>	<p>1／10 観劇 ・ポケット座 ・会食</p> <p>2／23 お別れ会 ・歌 ・松風園の出し物 ・保母の劇 ・会食</p>	<p>・遊戯</p> <p>10／16 地区運動会 ・親子リズム</p> <p>11／9 焼きいも大会 地区の老人クラブと ・焼きいも ・フォークダンス ・会食</p> <p>1／25 観劇 ・むすび座 「カバンガバン」 ・会食 松風園と年中児</p> <p>3／21 お別れ会 松風園と ・歌 ・松風園の出し物 ・保母の劇 「三匹のヤギの ガラガラドン」 ・会食</p>
---	--	--

第2表 平成7年度 世代間交流実施計画

回数	予定期日	実施内容	交 流 対 象	実施場所
1	6月14日	石けんづくり	松風園・保護者・松本消費者の会・園児	松 風 園
2	7月11日	コンサート	松風園・園児	保 育 園
3	7月13日	陶芸教室	松風園・年長児	松 風 園
4	8月3日	手芸教室	保護者・松風園	松 風 園
5	9月7日	祖父母参観	園児の祖父母・園児	保 育 園
6	9月30日	運動会	松風園・園児の祖父母・園児	保 育 園
7	10月6日	松風園の運動会	松風園・園児	松 風 園
8	10月15日	地区の運動会	地域の方々・父母・園児	入山辺グラウンド
9	11月13日	焼きいも大会	地域の老人クラブ・園児	保 育 園
10	2月28日	お別れ交流会	松風園・園児	保 育 園
11	3月7日	観劇会	松風園・保護者・園児	保 育 園

第3表 運動会実施記録

平成7年9月30日 入山辺保育園

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・各年令で経験してきた体育的な遊びを発表しあう。 ・クラスや他クラスの友達とかかわりを持ち、皆で一つの行事を作りあげ楽しく参加する。 ・保護者・地域の祖父母・松風園の人たちの参観により、一緒に楽しみ、交流を深める。 	
子どもの活動	保母の働きかけ	実 施 記 録
<ul style="list-style-type: none"> ・松風園のおじいちゃん、おばあちゃんに招待の手紙を書く。(子ども全員が絵を描く) ・松風園へ招待の手紙を年少児、年中児が届ける。 ・プレゼントを各クラスごと作る。(折紙で、好きなものを折る) ・プレゼントを袋詰めに 	<ul style="list-style-type: none"> ・松風園のおじいちゃん、おばあちゃんにも運動会をみてもらうことを期待させ、手紙の文章を読んであげる。 ・自分の家の祖父母と同じ気持ちがもてるように話したり、関心をもってかけるように工夫する。 ・かいた手紙(絵)をどうしたらよいか、子どもの中に返し、考え合う。年少組と年中組が手紙を持って行くことを知らせる。 ・保母が進んで松風園のおじいちゃん、おばあちゃんに挨拶をしたり、言葉がけをしたりする。 ・「松風園のおじいちゃんやおばあちゃんに折紙を折って、プレゼントしよう」となげかける。 ・できるだけ自分の力で折れるものを折らせる。 ・数が少ないので、皆で円陣を作り、二人一組になっ 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩等でおじいちゃん、おばあちゃんに関心をもっていた。 「畑にいるよ。」「前に来たね。」 「おいでってかくといいよ。」 「お花かこう」「玉入れしてるよだよ」など、好きな絵をクレヨンでかく。 ・「おじいちゃんたちにあげる」 「黙って渡さないで、運動会に来て下さい。お願いしますって言う」自分たちで書いた手紙を自分たちで届けるという気持ちをもてた。 ・運動会には一緒に遊べるということが理解でき、楽しみに待つ姿が見られた。(年少・年中) 年長児は、運動会でプレゼントを直接手渡すことを喜び、期待をもつことができた。 ・「好きなのでいい?」「ぼく、ひこうき作ろう」「ユリの花作ろう」などと、好きな色で好きなものを作る。気持ちをこめてていねいに作ることができた。 ・「おじいちゃん、おばあちゃん喜ぶかやー」「ありがとうって言うよ」と運動会を楽しみに待つ気持ちがみ

<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運動会で玉入れをして遊ぶ。 全員が赤白に分かれて玉入れを楽しむ。 • プレゼントを年長児が渡す。 	<p>てミカンと折紙の袋詰めをさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運動会を楽しみにするよう働きかける。 • 一人ひとりの子ども達ができるだけおじいちゃん、おばあちゃんに目が向けられるように保育が進んで言葉かけをしたりして一緒に楽しめるようにする。 • 一人ずつおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントを渡すようにする。 	<p>られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 松風園の方に無理のないよう工夫して玉入れをする。(入退場の方法など) • 子ども達とお年寄りでは身長差があったが共に楽しむことができた。 「玉入れ楽しかったよ」「いっぱい玉持ってた」「ありがとうって言ったよ」「笑っていたよ」 • 最初の取り組みから全員が参加したことで、当日も一緒に楽しむ姿がみられた。
--	---	---